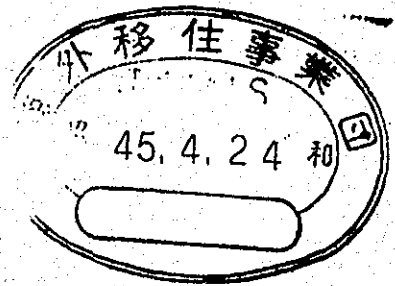


C-7

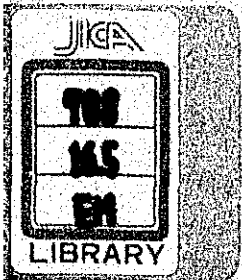
資料室
C-7

第二回 日本語教師研究会 議事資料

1969 · 12



海外移住事業団アスンシオン支部



国際協力事業団

受入 月日	'84. 8. 20	708
		16.5
登録No.	13148	EM



1028767[0]

1. 日 程

★ 1 日 12 月 5 日 (金)

8.00~ 8.20 開会の辞 永田 支部長

8.20~ 8.30 換 拶 井上 領事

8.30~ 9.30 講 演 江刺家 豊男

「日本語教育について」

9.30~ 9.50 質疑応答

10.00~ 11.30 各校教師報告 各校代表

「日本語学校の現状と今後のあり方」

11.30~ 12.00 質疑応答

15.00~ 17.00 各校教師報告

「学習指導基準」 各校代表

17.00~ 18.00 討 議

19.00~ 21.00 大使公邸にて懇談会

★ 2 日 12 月 6 日 (土)

7.00~ 8.30 授業参観 アズシオン日本語学校

8.00~ 9.30 討 議

「PTA活動の現況」

「白語作文課業の反応と今後の方向」

9.30~ 10.00 「青年学級に対する考え方と意見」

10.00~ 11.00 講 演

「児童の健康管理」 印南 成司

11.00 11.50 總 括

11.50 12.00 関会の辞 永田 支部長

2. 出席者氏名

教 師

ラ・コルメナ	ラ・コルメナ日 語 学 校	片岡 亮一
アスンシオン	アスンシオン日 語 学 校	高橋 春子
アマンバイ	シリタエロ日 語 学 校	吉崎 幸雄
エンカレシオン	エンカレシオン日 語 学 校	岩見 光子
フ ラ ム	フ ラ ム日 語 学 校	安藤 伸夫
チャベス	チャベス中央日語学校	宮崎 興徳
イタアス	イタアス日 語 学 校	岡根 裕
アルトパラナ	ピラポ13K日語学校	青木 敏雄
アルトパラナ	アカラジマ23K日語学校	岡田 睦男
参観者	フ ラ ム日 語 学 校	笹川 良一
〃	イタアス自治会教育委員長	戸田 彰
〃	ストロエスネル 日語学校	村岡 卓美

講 師

事業団支部の属託 元岩手大学教授

江刺 家 勉男

イタアス診療所 医 師 印 南 成 司

その他

在パ 日本国大使館 井上 領 幸

海外移住事業団アスンシオン支部 永田支部長
" " 奥村業務課長
" " 加藤 弘 員

3 開催場所 海外移住事業団 アスンシオン支部

4. 日本語教師研究会 開催にあたっての挨拶

(1) 永田支部長挨拶

日本語教師研究会における永田支部長挨拶 (12月5日)

(当日の挨拶を補足加筆)

昨年に引続いて才乙回目の研究会を開くに当り、大使館の格別のご協力と皆様のご参加を頂きましたことを厚く感謝すると共に、この際一言ご挨拶いたします。

海外移住について教育の面からみると宿命的とも云うべき大きな課題がまっわりついていると思います。即ち、人間幸福追求のための海外移住が将来の可能性を創造してゆく初期の過程においては、文化教育面においては日本と比べ、後進性と異質性を大きく持っていること、移住直后から移住先国へ否応なしに融和適応してゆかねばならないと云うことです。これは日本の教育と異なる多様性、複雑性に加えて国際性をもっているということです。更に、パラグアイの実状を分析してみますと、一般的には文化教育面の後進性としては、パ国の学校教育、特に義務教育のおくれ（不
就学、教師の質の低さ、教材施設の不備、教科内容、特に理科、情操教育

のおくれ) が着しく、又、社会教育面 (印刷出版、マスコミの未発達) のレベルが低く、且つ、伝統文化に恵まれていないということです。

次に日系社会の特殊性としては、次のことが考えられます。

1. 子弟にとっては、日本とパ国両方の学校教育の影響をうけており、所謂教育面からの混血児であり、言語は、スペイン語、タアラニ語、日本語の混用状態である。
2. 父兄がスペイン語を理解しないため、父兄とパ国学校教師との交流接触が乏しく、コミュニケーションが充分でない。
3. 日系集団社会であるため、パ国文化との接触乏しく且つ、パ国下層労働階級との接触に限られ勝ちである。
4. 開拓初期のため労務に追われ、最も大事な家庭教育が欠け勝ちであり、加えて兄弟、姉妹間においても、教育階層により意志疎通が充分でない。
5. パ国におけるカトリック教の影響は教育文化面では極めて大きい。日本人は多くが無宗教、又は異なる宗教のため、この恩恵をうけることが少ない。
6. 移住地社会の教育環境として通学距離の遠さ、経験ある教師の不足等があげられる。

以上の現状に立脚して考へるとき、日本語教育の意義は単に日本語を教へることのみでなくて、パ国の教育文化面を積極的に補完することが必要であり日本語のみならず、情操教育、視聴覚教育、珠算、体育等も折り込み、私見として教育の目標は「在パ日本人及日系人としての教養と創造的能力の素地を培い、パ国社会に適応しつつ、将来、人類社会に有為な人間を形成する。」ことにおくべきと思います。このことは言うは易くなかなか、難しいことですが、基本的には何としても先ず、父母の自覚と教育に対する理解が必要と想

います。私共、事業団としても「啓蒙の確立」と「子弟教育」は、併行した最重要課題と考へて居り、スペイン語学校、日本語学校の充実や、青年教育の強化に更に積極的に取り組んでゆくつもりです。文明社会の雑踏混乱から離れて甦まれた大自然の環境の中において、心の素直な逞しい有為な人間を育て上げることは海外移住の持つ、ひとつの大きな意義であり、又効果であると思います。ブラジルにおける日米二世の安田商互大臣の誕生は前例のない花ばしいことです。安田さんのご両親が乏しい生活の中から四人の子供を大学へ出し、子弟教育に情熱を傾けられたことの大きな成果であることをお互にじっくり考へる必要があります。

教育の門外漢である私がいろいろ申し上げることは差しかえませんが、移住地を廻り、教育の現状を見て気付いていることのひとつは、児童に対して学問に興味を持たせ勉強の意慾を湧かせることが先ず大串で、これがための工夫をこらし、いろいろの方法をお考へ頂きたいと思います。又、「居は心と移す」といふわれていますが、学校に礼儀を道ることや、教室内の飾りつけとか、一寸工夫すれば改善できることが多くあり、この呉父父兄会等と相談の上、たのしい清潔な教育の環境造りを心掛けて頂きたいと思います。移住者の子弟は「教育文化面の低級な混血児」として一生を終ることのないように心掛けることは、大人の重大な責任であり、義務であると思います。これがためには、子弟の教育レベルがパ国の中学校卒業程度と日本語学校の六年修了程度になることを当面の目標として今後、父兄、教師、私共が一体となって対策をすゝめて行く必要があると思います。

今回の研究会には、江刺家先生から教育の専門的立場からのご指導を頂くこととし、又、印南先生からは児童の健康管理について話を聞くことになっておりまして、十分な成果が得られることを期待しています。

終りに、日本語教育の現状は、寺小屋式教育とひいえる現状で、教師の人格的、主体的影響がきわめて大きいのでありまして、不十分な教育環境や教材に加へて、乏しい報酬の中で営業を続けながら教師の仕事に精進頂いて居ります皆さん方に対し、深い敬意を表すると共に今後一層のご努力を期待して止みません。

終

(2) 井上領幸挨拶 (要旨)

日本語学校の必要性と重要性を強調すると共に、父兄の日本語教育に対する理解と関心を高めることが必要であると述べ、さらに、ブラジルにおける日系人の活躍を例に、将来は日本とパラチアイとの橋渡しの役目を行ってくれるような人物の養成について先生方の一層の努力を期待する旨の挨拶があった。

(3) 江刺家先生講義 (別添資料1参照)

「日本語教育について」

既成の知識を与えることだけが教育ではない。むしろこれとむとに造り上げてゆくことである。子供は可能性をむつた1個の人間であり、二度とこない成長発達の時期であり、いかに伸ばしてやるかが教育である。また教育は、昔の寺小屋におけるような講義するだけでなく、むしろ、子供が何かをしようとすることを側から指導(カイゲンズ)することである。

日本語を学ぶことは、それにより日本の高い文化を学ぶとることであり

そうすることにより社会的、人間的向上を期待でき、ひいてはパラグアイの開発に貢献することができる。この意味において日本語学校は重要であり、スペイン語学校のつてたりではない。

日本語学校の教科書の使用に当っては、現在の日本からの寄贈される教科書だけで教育するのが適当であるか疑問（特に2、3世にとって）である。教科書の内容を取捨選択したり補充テキストの使用を考慮する必要がある。

現在の教師は、教育専門家ではなく、しかも、教具、予算の不足等の中で、日本語学校に要求するのは無理な注文と思うが、学校はやはり人間教育の場であり、そのためには情操教育、科学的能力の育成と社会性の訓練は欠かせないものであり、教師の教育愛こそ最も大率と思う。

(4) 印南先生講義

「児童の健康管理について」

心身ともに発育期にある児童の健康管理をするためには、

1. 年齢にふさわしい心身の発育
2. 伝染病予防と寄生虫対策
3. 年齢にふさわしい健康を保持
4. 心身の異常、発病の場合の適切な措置

に注意することが必要であり、そのためには

1. 健康管理年間計画というものを立て、合理的、効果的に行うため定期又は臨時の健康診断を行う。

2. 学校の環境衛生を行い、校地校舎の衛生、衛生施設の衛生、学校環境衛生の維持改善が必要（例へば、体格に応じた机、椅子の整備、便所、水呑、足洗場の改善、救急箱の設置等）
3. その他の学校の保健事業とし、保健相談、健康観察、保健室の設備が必要

このため、学校に保健委員会等を設けるとよい。

学校の保健教育としては、小学校においては、自己の健康に関心を持たせ、基礎的な知識をたしなめる。中学校においては、家庭、学校、地域社会の公衆衛生や、生理、栄養、疫病予防等について教へる必要がある。

なお、生活の向上改善と健康は密接不可分で、これに対する父兄と当局の理解が基本的に重要である。

5. 各日本語学校教師からの報告（要旨）

(1) コルメナ日本語学校 片岡 亮一 教師

年間を通じて授業を行い、科目は国語（社会を含む）
授業方法は、次のとおり。

(i) 小学生 夏期休暇以外の平常日

{	1・2 年生は	月・金	2 ³⁰ ~3 ⁰⁰ 時間
		木 ~	情操教育
	3・4 年生は	火（午後） 木（午前） 土（午前）	
	5・6 年生は	水（午後） 土（午後）	

夏期休暇の日

1・2 年生は 月（午前） 木（午後）

3・4 年生は 火(午前) 木(午前) 金(午前)

5・6 年生は 月(午後) 水(午後) 金

(ii) 青 年 日曜 午後2.00 から1時間半

1・2 年生対象に 算数、自由画をとり入れている。2学級
ずつの複式授業を行っている。

(iii) 今年3月～11月末までの出席状況は

年	延日数	出席率
1	131 日	83 %
2	132	86
3	92	49
4	92	66
5	67	81
6	67	69
青 年	17	65

(iv) 指導基準

- 1年生 : 家庭と学校のちがいを、共同生活のきまり面白さ、
礼儀を教へ、すぐ文字には入らず図象、角から訓れ
させる。テキストとしてフラジルの編さんされたもの
を使用。今年から日本で編さんされたものを使用
する。木曜日は唱歌、遊芸、折紙等情操教育を行
なっている。
- 2年生 : 音読、言葉遊び、書取り、筆順を教へる。テキ
ストは日本のものを主としフラジルのものを従とし
て使用
- 3・4年生 : 日本の2・3年用のテキストを使用し、フラ

ジルの日本語教科書を従として使用。社会の習慣、自然の美しさ、書取り、社会人としてのあり方、日記筆順を教える。

5・6年生：日本のテキストを主とし、ブラジルのものを従として使用。社会、地理、歴史、産業に力を入れる。スペイン語の教科書を日本語に訳す練習、基礎文法（2年程度の低いもの）作文、書取り

(2) アスンシオン 日語学校 高橋 春子 教師

(i) スペイン語学校 夏期休暇中 毎日 月～金、スペイン語学校が始まれば 土曜日午前中授業する。国語を主とし国語のテキストの中に出て来た時英でその都度歴史の話をする

(ii) 授業は 7.00～9.00 までの2時間、授業を始める前に体操、遊戯、歌を行う。

(iii) 生徒数は

1年生	13人	2年生	8人	3年生	2人
4年生	7人	5年生	1人		

(3) アマンバイ シクエロ 日語学校 吉崎 幸雄 教師

日語学校未修学児童 32人 うち24人は町におり、そのうち13人はブラジル学校がスペイン語に通っている。指導基準は与えられた教科書にそって教える。

(4) エンガルナシオン日語学校

岩見光子 教師

国語を/時間(月~金) 教える。生徒数は50人。来年度は70人を越す。夏期休暇のときだけ通う児童は15人位。

教科書の種類はたくさんあるが、まとまったものが少ない。情操教育として、オルガンを使用。時間終了前に10~15分唱歌ったり遊ばしたりする。年中行事として送別会、運動会を行なっている。

(5) フラマ日語学校

安藤伸夫 教師

授業は夏休み中のみ(12月~2月中旬まで)土、日を除く平日、午後1.00~日没まで、1年生~6年生まで8クラスあり。複式授業。生徒数33人。練習問題の解答に重賞をおき、特に理科に力を入れている進級は、年度が終ったら/学年進級するというやり方でなく、ひとつの教科書が終るまで進級させない。詩、観察文は学校の近くにある題材を拾って書かせる。

問題集は教科書として10年前、静岡県より寄贈されたものを使用しており、ボロボロになっていること。また、教師用指導要領がないこと。

(6) チャベス 中央日語学校

尾崎興徳 教師

生徒数は1年生~6年生まで45.6名。今年は50名。夏季には60名位になる。授業は8.00~4.00(午後)まで、午前と午後に分け、1時間を45分授業とし、午前の部は1・3・5年生、午後の部は2・4・6年生を教える。国語を専門とし、それに社会、修身を教える。

授業はスパルタ式にきびしく教へている。

問題点は教科書の不足と教科書の内容が現地に即していないので児童が理解に苦しむことがある。

(7) イタパス日語学校

岡根 裕 教師

(i) 学校は2校あり、ひとつは分校、本校は市街地にある。

小学生 1年生～6年生、中学生 1～2年生を教へている。本校教師は3人、生徒数は全部 (分校含)

小学生	1年生	18人	中学生	1年生	6人
	2	28		2	5人
	3	32			
	4	13			
	5	17			
	6	13			
	計	121人		計	11人

教科書は華業団が寄贈したものを使用、授業は年間通じて日曜日のみ、午前8:00～11:00、午後1:00～4:00まで。3ヶ月に1回位生徒の自主性により学級会を開いている。学年別平均年齢は、

3年 11.5才 4年 13才 (16才も混じる) 5年 13.3才
6年 14才 (11才も混じる)

(ii) 教育方針は、次の4点におく。

- ① 日系日本人としての使命感を培わせる
- ② 自分の意見を正しく発表する力を養う

③ 規律を守る

④ 創造性を養う

(iii) 問題点として、スポーツ用具の不足、国語の辞書を持った家庭が少ないこと、図書としては読み古されたものしかないこと。

(8) ピラポ 13K日語学校

青木 敏雄 教師

1年を3月～11月、12月～2月の2期に分け授業。教科書は充分あり、本年10月事業団より来た教科書の配布時期が好都合であった。アルトパラナ全体の先生の研修会を実施し、移住地内で統一した学習方針をとり通信簿を作成する等、日本に近い形で行っている。

国語を主体とし、珠算を取り入れている。珠算はアルトパラナ地区一円とした検定制度と考へている。

(9) アカラジマ 23K日語学校

岡田 睦男 教師

(i) 3月～11月までは土曜日だけ、12月～2月までは、1週2日土・日曜日。3月～11月までは午前中(7:30～3時間)1～3年生、午後(1:00～3時間)4～6年生を教へ、12月～2月までは土曜日は、1・2・3年生(1日)、日曜日は、4・5・6年生(1日)を教へる。

(ii) 問題点としては補修教材が不足していること。授業時間が足りないこと。国語と算数をやっているが無理があり今年からは算数は低学年だけにする。女子の運動用具がほしい。(男子は事業団よ

り野球道具の寄贈を受けている)。教師のための「教育技術」「指導方法」等の図書がほしい。

(iii) 年中行事として7~8月に運動会、行進、少年野球大会、1~2月に3・6年生対象 エンカルナシオンへ遠足を行っている。

(10) ストロエスネル日語学校

村岡 卓 美 教師

本年11月開校したばかりで生徒数は1年 5人、2年 5人

3年	4人	5年	2人	年齢別には	
	18才		1人	8才	2人
	12才		1人	7才	2人
	11才		2人	6才	2人
	10才		4人	5才	3人
	9才		2人		

18才の子が始めて日本語をやるような特殊な環境であるのでワンツーマン方式で行っている。教室は組合倉庫を使用し、父兄も生徒も非常に熱心

授業は夏季、月・水・金 午前7:00~11:00 夏季以外土・日
低学年は40分2時間授業、始める前にラジオ体操をやる。学習には直線・曲線を先にやり、片カナからひらがなへ入る、絵札をつくったり、クロスワードパズルを行う、2・3年生には筆順を教へ、覚えないう漢字はどしどしとばし先へ進み、時期をみて当用漢字を集中的に教へる。今後は、社会、理科、歴史を通じて国語の勉強をさせたい。又、習字も教へたい。

問題児については家庭訪問をする。ストロエスネルはブラジルの経済圏に近いので、パ国及びブラジルに通用する人間を創ってほしいとの父兄からの要望がある。外国語としては、日語の他、英、ポルトガル語にも親

しませたい。情操教育としては、木琴を揃えたいと考えている。

6. 質疑応答 (討議の要旨)

質疑	応答 (主なる応答)
(1) イタズ教育委員長 教師の謝金額は、ど れ程か。	<p>イタズ: 週/回で 1,000 円s.</p> <p>コレサ: 大俵館より出る</p> <p>アスンシオン: 4,000 円s</p> <p>アマンバイ: 1,600 円s</p> <p>エンガルナシオン: 8,000 円s</p> <p>フラム: 3,200 円s (200/生徒)</p> <p>チャベス: 回数制、/回350(支給)+60=410</p> <p>アルトパラナ: 11月まで 1,500円s (週/回) (ピラホ) 12月より 2,000円s (週2回)</p> <p>アルトパラナ: ピラホと同じ 2月にボーナス (アカラジャ) 2,000円s 程度</p> <p>ストロエスネル: 週3回で 6,000 円s</p>
(2) イタズ 岡根教師 クラス活動は行って いるか、否か。	<p>チャベス: 以前やったが時期早尚のため中止</p> <p>ピラホ: 時間的關係で特に行っていない。 たゞレ、少年野球をやるため自主的に練習して いる程度。</p>
(3) イタズ 岡根 教師 各地区の教育委員だ	<p>チャベス: 任期が一年だけだから、やって む意味がない。</p>

けの統一会合は持て
ないか。

(4) イタス

日本語学校に対す
る父兄の考え方

(5) イタス教育委員長

チャベスでは修身
を教えているとのことだ
が日本人としての倫理観
念とパ人のそれとは違
う点があると思うがその
点どうするのか。

(6) イタス教育委員長

日語教育の重点を
「話」「書」「読」の3つ
の点からみると「読」
ことに重点を置くべ
きと考へるが どうか

チャベス： 父兄会は来まらないし授業参観に来
るように云っても来ない。

チャベス： 倫理観念は、大きな道徳と云う意味
では、本質的にかわりはない。子供はきび
しく教育しなければいけない。

イタス教育委員長： 話すことはあつても書くこと
は少ないし、書くことに重点をおかなくてよ
いのではないか。

フラン、チャベス、イタス： できる範囲で並行した
方がよい。

ゴルメナ： 知識の吸収を出来るだけ尋くすると
云う考え方からして「読む」に重点をおくべき

チャベス： 何れにしても子供の学習態度が一番
問題。仕事ばかりしている子供は覚へないし
また 親が子供の教育に関心を持つことが大
半。

アルトパラナ： 読むことは家でやれるので書く

く事を学校で中心にやる。

江刺家 先生： 読むことと書くことを並行してやることはむづかしい。日本では読んで理解することに重きが置かれている。

7. 永田支部長一括問題 提議

(1) 2部、3部、4部授業が行なわれているが、その問題と対策如何。

ストロエネル： 低学年と高学年をあわせて行ない、1・2年、3・4・5年等あわせるカリキュラムがあつてよいと思う。

フラム： 1・3・5年、2・4・6年とあわせると学年が接近していないので、お互に興味を持たないのでやり易い。

イタス： 1人の先生では3部までが限界

江刺家 先生： 午前中、低学年、午後は高学年とすることができればよい。

永田 支部長： 根本的には学校を統合し、教師、生徒数をふやし、1年、2年--と別々に教へることが一番だと思う。スクール・バスを前向きに検討したい。目標としては複式授業までにしたい。

(2) タアラニ-語、日本語、スペイン語、ポルトガル語の環境の中で、日本語教育は

ストロエスネル： 日本語、スペイン語、タアラニ語はマスターすると思うが、才2外国語として英語などは基礎を教へる必要があるのでないか。進学するか否かでウエートの置き方

どうあるべきか

(3) 珠算の効用は
如何。

がちかってくる。もし大学へ進むとすれば西語に重点をおき日本語は、はっきり止める。
イタアス： 教師自体修養を行ないながら教鞭をとることから週/回しか出来ないが 週/回/年間で効果があるかどうか、懸念がある。家庭教育がきわめて重要で父兄の教育に対する関心が同等であると共に教師のスタッフを揃へる必要がある。

アルトパラナ： 週/回。夏期休暇中は週2回をパラタアイの日語学校の最低指導基準としてきめてよいのではないか。

チャベス： 週/回3時間。夏期は週2回やれば/年分は充分こなせると思う。

アマンバイ： 毎月/回。その他 日曜日、休み時間を30分繰り上げて珠算をやっている。5年生から教へ、検定試験を実施している。級づけは相互会議所の基準にむとずき英教は70 吳 P級から始めている。

アルトパラナ： アカソラジャで、テキストケースとして行なったところ、成績が非常によいので算数にかえ珠算にしたい。

イタアス： 中学課程に於て授業にとりいれている。珠算の検定試験に权威を持たせるため

アスンシオン支部主催のひとに統一した検定試験を行ってほしい。

(注) 珠算を教へていない学校は、ゴルメナ、アスンシオン、エンカレナシオン、ストロエスネル、フラム、チャベス

(4) 補習用テキストとしてスペイン語のテキストを日本語に直してテキストとして使うことは如何。

フラム：各学校に教師用の指導書を作成してもらうのがよいのではないか。

アルトパラナ：時間がないのでできない。

チャベス：必要ないと思う。

ストロエスネル：日本語の教科書とそのまま、教へていることに向題があると思う。補習用テキストを重視すべき。

(5) 学校の教材、環境施設の改善はどうしたらよいか(必要なもの)

① 教材の整備

辞典 ~ 漢和辞典、国語辞典
(算盤) (教師用も含めて)
百科辞典

② 運動施設

スランゴ、スベリ台、鉄棒 etc.

③ 環境整備

表示看板、花壇、植樹、水呑場等の整備。

8. PTA 活動の現況

(1) 教育員担金の 現状

イヌアス : 小学生 30 円 中学生 100 円。
ゴルメナ : 1年生 150 円 3年以上 50 円
アルトパヲナ : 80 円
アマンバイ : 1人につき 120 円。2人の場
合 140 円。3人 - 170 円。4人 - 200 円
フジ : 1000 ~ 1500 円を生徒数で割る。
昨年 100 円。今年 200 円
チャベス : 1人 30 ~ 40 円
エンカルナシオン : 1人 100 円 その他協力
費として / 口 50 円。

(2) PTA の開催に ついて

各校とも 年1回以上開くが、3回以上開く
のは、ゴルメナ、ストロエスネルのみ。

(3) 父兄参観実施

アマンバイ、チャベス、フジのみ。母親
が熱心でないといけなない。

(4) 家庭訪問実施

チャベス、ゴルメナ、ストロエスネルのみ。

(5) 通信 券

家庭だよりを出して特別な生徒に対し渡して
いる (フジ) 1年3回通信券を出し、そ
の中に子供の態度等について記載する。(ア
マンバイ)

9. 日語作文集の反省と今後の方向

チマベス : 作品にみるべきものがなかった
ので応募しなかったが、趣旨は賛成で今後も
続けてほしい。

アルトパラナ : 文法の訂正、字の訂正等をして
清書の上提出したが、今後、継続する時は、
応募期間を長くしてほしい。

フジ : 字数を自由にし、題数を広くし、
時間を長くしてほしい。1・2年生に作文
は無理、自由画等が望ましい。

10. 青年学級について

フジ : 16~20歳までの日本の小学4
年生程度の青年を対象に行っているが、日常
生活に縁遠いものはむづかしく、生活に結び
ついたものを科目としてとりあげた。例へば
営農自体にもアラスし、青年自体興味をもつ
ような農業関係の講義（例へば稲作栽培）
は高校後学年程度のものをやる。

アルトパラナ : 経費の問題から、地区別に
2週間に一回、営農のあり方、農業経営を中
心に行なったが、今年は爰記のみを行っている。

アルトパラナ（アカラジヤ） : 青年の自発的

講師をやっている。3クラスに分け中等の教科書を使用。2週間に1回。午前中授業し、午後はクラス活動をする。

竹さながら勉強する方法として地区を選定し宿舍農場をつくり独立の実習農場を作る構想をむっている。

アマンバイ： シリタエロでは 毎月5日夜、文学書に親しむため持ち廻りで読む。歌唱指導も行なう。現在生徒5人。ペドロ・ファンは日語学校の教師を中心に50名程度で始めたが、まもなく集まらなくなり中止した。

女子青年に

ついては

高度の教育は望まないが 家庭発給程度は教える必要がある。洋裁 料理講習は必要。

11 むすび

日語学校の現状と問題点 並びに学習指導基準に関し各学校より報告を受け、その内容を協議し、更に本研究会の議題を加えて項目を整理すると次のようになる。

(1) 授業のやり方

ア. 二部・三部授業をしなければならない現状にあってどう
いう方法がよいか。

イ. スペイン語、ポルトガル語、クアラニー語、日本語と多々
ある中で、どういうやり方とすれば最も効果があるか。

現状のような生徒数が少なく且つ至難ある教師が不足し、日本語学校に対する認識が制度と曖昧の段階では、二部・三部授業を止むを得ず、何とか工夫しながら授業が続けられているが、複式授業が限度と思われる。午前と午後とに分けるとか色々な方法を考へてはいるが、やはり将来は学校の統合、スクールバスの設置、教師の増員、待遇の改善等の具体的な改善策が立てられねばならない。と同時に父兄の認識を高め日本人としての日本語を習得する学校というものの体系を整へる必要がある。児童に二ヶ国語をマスターさせることは決して困難ではなく、現状の授業時間、教材等^を実^用させて行へば、日本語の小学生6年課程の履修は可能である。

教材の問題に連るが、パラタアイに於ける日本語学校の指導基準を作り、使用、教材、指導方法等定めることが望ましい。

(2) 授業の内容、教材、教育環境等について

授業の中に珠算をとり入れることは 数の概念、係数的なもの、把握計算能力等を高める上に効果があり、日語教育、人間形成教育の上でも立派な補完的役割を果たす。実施していない学校もあるがこれは全校でとり入れるようにしたい。

教科書は次第に統一されてきた。部数が少ないこと、内容が極めて日本国内的で、当国の実情や生活に即しないものもあるが、当面はこれを用いることとし、時間があればパラタイのスペイン語教科書の中から選択して翻訳したものを補助教材として使うことがより効果的であると思われる。又、教員の大部分が教育の未経験者であるため、「教育技術」≪「複式授業のあり方」等についての教師への指導手引書が必要と思われる。更に教材として辞典類、算盤、運動場その他の施設、音楽教育用具等、揃えて総合的な日本語教育としての場を完成させたい。これがための実情調査を行いこの問題は検討したい。

(3) P.T.A 活動について

日語学校の成否は 一に父兄の関心及び協力にかかっている。父兄の教育費の負担に限界はあるが、優秀な教師の人材を確保し育成するためには生活を犠牲にしてまで教師の成り手はなく現状の課金はきわめて安い。父兄の大部分が強い関心をもちながらも授業の参観の少ないことや、父兄会に関してあまり熱心に出席しないことから、更に啓蒙が必要である。

家庭訪問をやっている一部の学校もあるが、父兄との接触を深め、教育に対する認識を高め、父兄の教育費負担の増額も含めて今後の課題として、検討すべきである。

(4) 青年学級 について

実施している地区は少ないが、実施しているところでは一部青年の自発的意志で学級を開いている場合が殆んどであり、段々と人数が減って龍頭蛇尾に終るケースが多い。永續性のある制度として確立し月謝をとり、教員費の各人が一部負担し優秀な講師陣により青年学級を構成し、単位を設け、半強制的に参加を求め前催する計画が最もよい方法で、事業団としても、1970年度より青年学級の創設に積極的に関与してゆく考へであるから、自治会、父兄、教師の理解と青年の自発的意欲の昂揚を統合し、青年学級の具体的あり方について充分な検討をすすめてゆきたい。

別添資料 1.

日本語学校の使命

1 教育ということ

1) 親子の立場

子供を育てる親の責任 親権
子供は親から独立した1人の人間 生きる権利
成長する権利を持つ (可能性の発展)

2) 子供の成長

a. 成長の過程がそのまま現実の生活
b. 未来への準備
身体的成長、心の発達 変化、社会的成長 (言葉、知識、色々な能力)

3) 寺小屋教育と現代日本の教育

教授 (講義) から 指導 (ガイダンス)

2 日本語

1) 文字

漢字 表意文字
当用漢字 義務教育中に 881 字
現代かなづかい 表音文字

2) 国語は国民文化の象徴である。

民族が自国語を持つことの誇り、並び
日本語に対する移住者一世と二、三世の立場

日本語を通して高い文化を学び 社会的・人間的向上が期待できる
それは更にパラグアイ国の発展に寄与貢献し 文化の向上に役立つ
ものである。

3 日本語学校と教科書

- 1) スペイン語教育のつけたりではない
教育専門家でない教師の苦勞・取扱い上での困難さ
〔 児童心理、発達心理の不足 〕
- 2) 日本語の学習
会話 - 読解力 - 筆記力 - 発表能力 - 作文能力
- 3) 日本の教科書使用の可否 —— 日本在住の児童と開拓地の児童
言葉は論理であると同時に感情である。
開拓者 —— 移住地における最初の先祖
二世、三世 —— こゝが生活の場、故郷。
4) 教科書内容の取捨選択の問題
補充の使用 (興味 促進)
読解力育成 童話、物語等の本
理解力育成 お話し、紙芝居、スライド
参考文献の選択 (環境とのむすびつき)
理科とのむすびつき —— 興味の拡大、注意力、観察眼の育
成 (創造 工夫の能力)
社会科とのむすびつき —— 日本の国のあらまし、パラグアイ
国の日系人とその活動

4. 学校は人間教育の場

1) 情操的陶冶

子供の性格・意志・社会性の正しい発達

音楽 — 詩・曲の表現による情緒性・言葉・文字の理解

体育 — 身体的発育 — 計量・能力測定

図画 — 模倣性・創造性・心理的動きの表現

2) 科学的能力の育成

疑問と解決の努力・科学文化の進展に貢献

3) 社会性の訓練

円満な個人 よき社会人・有能な職業の人・共同社会の一員として人間味豊かな個性の育成

5. 日本語学校 教師の困難点

1. 現職者は教育専門家でない

2. 将来共教育として期待し得るか、どうか

3. 広大な地域に散在している

4. 教具の不足

5. 予算の不足

6. 適当な指導者が得がたい

7. 適当な参考書がない

日本語学校生徒数一覧表

地区別	学 校 名	経 営 主 体	教 員 数	1年	2	3	4	5	6	計
アト・パラナ	アト・パラナ1小学校	アト・パラナ自治会 同地区学校協力会	3	16	23	14	15	16	13	97
	オ2	〃	1	3		2		3	2	10
	オ3	〃	3	13	5	3	8	3	12	44
	オ4	〃	3	9	8	9	11	7	20	64
カレンズ	日本語学校	〃	2	3	3	6	5	5	4	26
	小 計		12	44	39	34	39	34	51	241
アラム	アラム中日本語学校	アラム中学父兄会	1	18	17	15	-	-	-	50
	サンタローサ日語小	サンタローサ自治会	4	23	20	19	11	22	12	107
	ラパス	ラパス	2	10	9	10	7	6	3	45
	高 士	高 士 地 区	6	43	30	15	13	9	10	120
チャベス	チャベス中央日本語学校	チャベス中央小 教育委員会	1	12		11	16	6		45
	チャベス大和	チャベス大和 都 落 会	1	13	5					18
小 計		15	119	81	70	47	43	25	385	
エンカルナシオン	エンカルナシオン日本語学校	エンカルナシオン日本語学校運営委員会	1	17	20	18	10	-	-	65
アスンシオン	アスンシオン日本語小学校	アスンシオン日本人会	1	9	6	4	2	-	-	21
イタアス	イタアス小 学 校	イタアス自治会 教育委員会	3	10	18	16	17	19	13	93
	美陸分校小学校	〃	1	8	10	4	-			22
	イタアス中 学 校	〃	2	8	10	-	-			18
	小 計		6	26	38	20	17	19	13	133
ラコルナ	ラコルナ日語小学校	ラコルナ文化協会	2	13	10	18	11	9	13	74
アムンバイ	サンパタン日語小	サンパタン地区教育委員会	3	6	5	2	4	2	4	23
	シラスエロ	シラスエロ	2	1	3	9	4	4	5	25
	中 央	父 母 会	1	21	10	17	7	5	2	62
	小 計		6	28	18	28	15	11	11	111
計	日本語中学校生徒数		3	26	27	15			68	
	日本語小学校生徒数		40	230	185	177	141	116	113	962
	総 計		43	256	212	193	141	116	113	1030

